

発行:NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会 発行人:西阪 義晴
事務局:TEL:06-6241-0505 E-Mail:npong21@hyper.ocn.ne.jp

MIDOSUJI NAGAHORI



西阪 義晴(にしさか よしはる)
 1961年生まれ
 兵庫県たつの市出身
 慶應義塾大学卒業
 1983年 株式会社大丸 入社
 2014年 大丸東京店長
 2016年 大丸心斎橋店長(89年
 ぶりの本館建て替えプロジェクト
 の指揮を執る)

(編集部追記:お酒はそこそこ、趣味は「へたの横好きのゴルフ」だそうです。)

1.シビックプライドの醸成

「シビックプライド」は、今や一般的な言葉となっていますが、この地域で働かれている方、お住まいの方、訪れた方皆がこの街を誇りに思えるような取り組みを持続的に行って参ります。ハードだけでなく、ソフトも含め、私たちが自分事として取り組んでいく、そんな会にしていきたいと思います。

2.会員の拡大増強

目標達成に向けた取り組みを具体化し推進するためにも、会員拡大による組織力のさらなる強化が必要です。御堂筋を背骨としながらも周辺エリアも含めて、地権者・商業者両面の基盤を磐石なものにする取り組みをして参ります。

3.実行計画の見える化と共有の推進

適材適所による役割分担と会則に基づいて運営してまいりますが、会の動きをもっと「見える化」したいと考えております。

理事長として、通算22年を務め、 成松孝氏勇退

成松孝氏は、1994年4月から2020年4月まで、途中4年間を除く通算22年間に及ぶ理事長職を勇退されました。これは当会38年の歴史の約6割を占める在職期間であり、この間長堀再開発に続き、「御堂筋パークストリート構想」という御堂筋100周年の将来像を大阪市に投げかけた当会活動のけん引力として多大の功績を残され、今年度は「理事長代理・御堂筋担当」理事という新ポストに就かれました。

理事長交代。 新理事長に、大丸大阪・心斎橋店長 西阪義晴氏が就任

新・理事長就任のご挨拶

今年度より理事長を務めさせていただきます西阪義晴でございます。長年にわたり地域の発展、賑わいの創出に貢献してきた<NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会>の理事長に就任し、その重責で身が引き締まる思いでございます。

また、歴代の理事長はじめ会員の皆様のご協力により築いてこられた地域の企業や人々との信頼関係を穢さぬよう精一杯精進して参る所存でございます。今後とも、会員の皆様のご支援、ご協力をお願い致しますとともに、未来にむけた取り組みを共に推進して参りましょう。

当会は1982年の発足以来、長堀通りの開発や御堂筋における活性化に取り組み、多大な成果を上げてまいりました。しかし、時代とともに、社会は大きく変化し、生活者の価値観も多様化し、グローバリズムが著しいスピードで進展するなど急速に事業環境は変化しています。そして、コロナ禍による新たな行動様式や価値観など、今後も当会活動に大きなリスク(チャンスも含めて)となる要因がいつ起こるかも知れません。

一方、<世界に冠たる堂々たる風格の御堂筋>を舞台に、あらたな取り組みもスタートしております。(大阪市道路協力団体制度スタート)。そんな今だからこそ、当会活動の40周年という節目に向けてはもとより、また当会活動エリアのみならず、大阪の活性化に資する10年先を見据えた戦略を構築し、時代感にマッチした目標の設定と目標に向かって着実に、持続的に活動していくことが必要です。

その為には、会員の皆様から多角的な視点で幅広いご意見やアイディアを頂き、当会の活動に反映していきたいと考えております。是非、ご協力ををお願いいたします。

以上のことを踏まえ、左記の3つのことに留意しながら、会の基盤の再確立に取り組んで参りたいと思っております。

会員の皆様とのよりいっそうの一体感を醸成することが、会員拡大につながり活動基盤の強化にもなると考えています。そして何よりも、その前提として、会員の皆様にニュースを発信出来る具体的なアクションを起こして参ります。

当会の発展と大阪・エリアの更なる魅力化、賑わいの創出の為、熱意とエネルギーを持って取り組みましょう。

NPO法人御堂筋長堀21世紀の会・理事長 西阪 義晴

前・成松理事長退任のご挨拶

第1期長堀通り整備に14年、第2期御堂筋プロジェクトに8年、皆様に支えられ、後押しされながら理事長を務めさせて戴き誠にありがとうございました。皆様の結束力と情熱、和の精神に支えられ、皆様共々夢中で走ってまいりました。新理事長の言葉を借りれば、当会活動の原点はまさに「シビックプライド」です。今後、小職は今年度の総会で決裁をお受けしたとおり、新理事長に会運営をお願いし、御堂筋プロジェクト推進に集中尽力する積りであります。「倫安(とうあん:将来のことを考えず目前の安樂をむさぼること)」の心を排し、次世代への舞台創りに貢献するのが私の思いです。次世代の皆さんで地域を、そして大阪を世界に輝く都市にしていって下さい。

理事長代理・御堂筋担当 成松 孝

令和2年度総会レポート

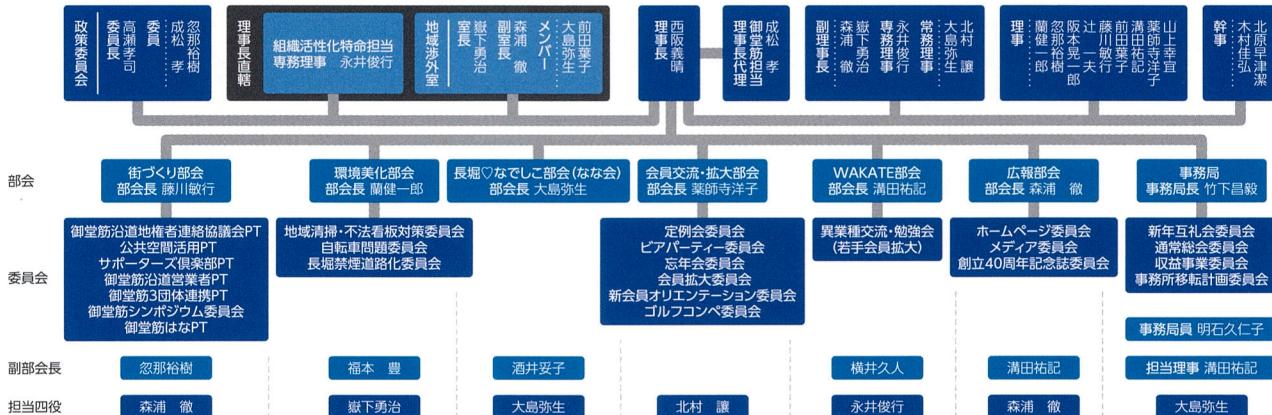
コロナ禍の今年、書面による議決権行使で開催

新型コロナウイルス感染防止の為、今年度通常総会は書面による賛否議決投票で開催。総数156会員の内過半数を超える87会員が書面で審議しました。議決決定事項をお知らせします。

■以下の8つの議案が上程された

- ★第1号議案《令和元年事業報告》
 - ★第2号議案《同収支決算報告》
 - ★第3号議案《役員の選任及び退任役員》
 - ★第4号議案《組織再編》
 - ★第5号議案《令和2年度事業計画》
 - ★第6号議案《活動予算(案)》
 - ★第7号議案《御堂筋サポーターズ倶楽部の活動報告
及び活動計画》
 - ★第8号議案《会費値上げについてお願ひ》

●NPO法人 御堂筋・長堀21世紀の会 活動組織表



新・事務局長さん紹介

新事務局長：竹下 昌毅さん（株式会社竹中工務店 営業部：部長）

この4月、退任された前事務局長・高橋茂嘉さんの後を継いで事務局長に就任された竹下さん。お生まれは佐賀県。大学の建築学科を卒業し、1986年に竹中工務店に入社された。以来大阪に在住。建築の仕事は、やったことが造形として見えてくるのが醍醐味だとか。主に携ってこられた仕事は市街地再開発。中でも強く心に残っているのは1995年勃発の「阪神・淡路大震災」の震災復興事業で、今も当時、壊滅状態の神戸で一緒に仕事をした関係者の人達と年1回の

飲み会が続いているそうだ。

「この会は業種も立場も違ういろいろな人に出会えるのが魅力。事務局長として、会の活動が活発になるように支えていきたい」と。肩を痛めて今はできないがゴルフも、お酒もお好きだそうです。



新・理事さん紹介

環境美化部会会長：蘭 健一郎さん（株式会社ヨシノ：代表取締役）

元々はゼネコンで橋梁やトンネルの施工管理をやってきたが、今の仕事・高速道路の防水工事を始めたのが60歳を過ぎてから。モノづくり大好き、創意工夫が大好きで、吹き付けロボットを導入したり、今また、建物内の汚染物質を分解して抗菌や防カビ、消臭効果で環境を保全する『空気触媒セラルフィール工事』の普及に夢中になっている。

高速道路の防水工事に目覚めたのは、アメリカに追随する使い捨て文化に嫌気がさし、物を慈しむヨーロッパの精神

をドイツの道路防水で知ったから。そんな思いから、街づくり三十数年、清掃活動も三十数年続けてきたこの会に感動して4年前に入会。環境美化部会長を引き受けたのも、同じ思いから。まだまだ、やりたいことがいっぱいという72歳です。



令和2年度の活動がスタート

6月26日、第1回定例会開催、全員がマスク着用で会議

新型コロナウイルスのため、3から5月までの約3か月、(一部を除く)部会活動を休止。6月に入って、ようやく令和2年度の活動が始動。6月26日(金)、ホテル日航大阪4F『孔雀の間』で今年度第1回定例会を開催しました。会場では、間隔をあけて着席し、出席者49名全員がマスク着用という、歴史的な会議風景。

総会が書面による賛否投票で開催されたため、西阪新理事長がご出席で全体の会合が開かれたのは、この日が初めて。また、今年は役員選任の年であり、新しく理事に就任さ

れた蘭健一郎さん、藤川敏行さん、前田葉子さん、新事務局長・竹下昌毅さんが紹介され、恒例の年間表彰も行われ、西阪理事長より表彰および記念品が授与されました。



マスクで会議

年度表彰(敬称略)

- 功労賞：山内一郎：清掃美化活動を35年間継続、大島弥生：御堂筋花壇プロジェクト推進、嶽下勇治：地域連合振興町会との連携推進、高橋茂嘉：事務局業務の充実と活性化、松井緑朗：広報部会充実、地元地権者とのパイプ役、高橋幸夫：理事として活躍及び理事会会場の提供、薬師寺洋子：会員交流・親睦に貢献



西阪理事長より賞状を受ける受賞者

清掃活動表彰

- 全皆勤賞(8社)：(株)インフォーム、オー・エム・ビル管理(株)、クリスタ長堀(株)、辰野(株)、日本生命保険(相)大阪都心南支社、林ベニヤ産業(株)、山一化工(株)、(株)ヨシノ
- 準皆勤賞(5社)：アイリスオーヤマ(株)、ヴィクトワール(株)、青山貿易(株)、(株)大丸松坂屋百貨店心斎橋店、(株)竹中工務店
- 精勤賞(7社1名)：新谷工業(株)、エア・ウォーター(株)、(株)サン・アクト、(株)心斎橋共同センタービルディング、(株)すみうら、大成建設(株)関西支社、ホテルトラスティ心斎橋、明石久仁子

御堂筋はなプロジェクト表彰者

大島弥生 [大島内科医院]、酒井妥子 [株式会社ジオ・アカマツ]、高橋茂嘉 [株式会社竹中工務店]、山下(島川)友紀 [辻一夫税理士事務所]、小林はま [戸田建設]、小松茂樹、薬師寺洋子

新・理事さん紹介

前田葉子さん(三和住宅株式会社:代表取締役)

三和住宅は、社歴70年の不動産賃貸業。ここ中央区は、近年、マンションがどんどん建ち、居住人口が年々増加。前田さんもこの地域の住民であり、街づくりの一翼をになう企業として、高齢者の見守りや子育て支援など、十指に余る団体役員を務め、当会には渥美連合振興町会長の立場を踏まえて入会し、理事に就任された。

前田さん。ただの女性社長ではない。かつてロサンゼルスで20年間ホテルを経営し、ほぼアメリカ全土を旅行。ロータリー

クラブの世界大会にも欠かさず参加するなど、行かない国はないほど世界中を歩いてきた。その目で日本を「これほど真面目で勤勉な国民はないが、反面、独創性には欠ける」と斬る。豊かな国際感覚と、人間のための快適環境を創造したいと願う市民感覚を兼ね備えた素敵な経営者である。



新・理事さん紹介

藤川敏行さん(株式会社竹中工務店 開発計画本部西日本3グループ:部長)

早稲田大学で大学院を含めて6年間、建築と都市計画を学び、就職に際してはまちづくりや都市計画に関わりたいということと、企画・設計・施工とプロジェクトの過程全てに関わられる会社で、できれば大阪で…と、1990年に竹中工務店に入社。現在、多くの都市開発に携わりながら、梅田や御堂筋、OBPなど各所のエリアマネジメントも担当。4年前からは当会にも関わり、御堂筋沿道で「勝手に社会実験」と称しゆるやかな飲み会を始めたユニークな人。

ワインが好き、最近はウイスキーも。それよりグラスの向こうに人が居る、雑多な魅力が混在する場所やまちの風景が好きだと言う。やっぱり、街を創る人はロマンチストだ。そんな藤川さん、「まちづくりのエネルギーはまちに対する愛着から生まれる、そんな活動を」と思いを語った。



会員拡大委員会 1会員1社紹介キャンペーン 2020 今年も目指します。年間入会目標50社

氏名	
山内 一郎	山内一郎さんは、山一化工(株)を定年退職により退会されましたが、個人会員として再入会されました。

御堂筋が変わる! 歩行者が安心・快適に通行・滞留できる道路に

先般、道路法の一部が改正され「歩行者利便増進道路」が新たに登場。これは歩行者が安心・快適に通行・滞留できる道路のことと、大阪市は地元エリマネ団体と連携して、御堂筋を指定第一号にすることを目指しています。

ただし、これは制度なので、行政が何かをやってくれるわけではありません。地元のエリマネ団体が、議論し行動を起こす必要があるため、当会は「道路協力団体」の指定を目指しています。

コロナ・活動休止中も お花は元気に育ちました



昨年11月に植えたチューリップが、コロナ外出自粛期間中に満開(4月16日大島撮影)

お花は生きもの。コロナ自粛期間も水やり・植え替えと世話は欠かせません。水やりは、薬師寺、酒井、高橋、小林、大島が曜日を決めて担当しましたが、在宅勤務で花壇に来られない方がありました。なんとか週に3回は水やりを続けてきました。

気温が高くなる6月~10月は、日曜日以外毎日、水やりが必要です。現在は、月曜日から土曜日まで順番に、薬師寺洋子 / 米田玲子(エア・ウォーター) / 酒井妥子(ジオ・アカマツ) / 坂口 寛(オー・エム・ビル管理) / 小林はま(戸田建設) / 大島弥生(大島内科医院)が担当します。

自粛期間中の5月20日に、公園事務所さんと植え替えを行い、現在、ダリア、イングリッシュラベンダーなど色とりどりのお花で花壇はいっぱいです。



公園事務所さんと植え替え作業中。

各部会の近況

環境美化部会

8月、9月の清掃活動を中止。清掃活動は6月19日より再開しましたが、7月中旬より再びコロナ感染者が拡大。清掃活動中、マスク着用による熱中症リスクを考慮し、8月と9月の清掃活動を中止します。

会員交流・拡大部会 予定変更のご確認を

8月3日のビア・パーティーは中止。10月16日(金)には第二回定期会・昼食会、11月10日にはゴルフコンペ開催を予定していますが、いずれもコロナ感染状況によって直前に中止の可能性があり、その際は、随時メール等で連絡しますので、見落としなきよう、くれぐれも確認の程を。

WAKATE部会

2月25日開催予定の『WAKATE部会勉強会及び交流会』が延期。コロナが落ち着いたら、活動開始します。

長堀♡なでしこ部会(なな会)

クリスマスイルミネーションの2回目、御堂筋3団体の女性会員と意見交換会、なな会の懇親会を予定。いずれも、コロナの状況で変わる可能性あり。

地域涉外室

街づくりは地域の人たちの協力が必要。協力をお願いするばかりでなく、私たちもできること一緒にやることで連携を強めていきます。

現在の会員数

2020年7月31日現在 : 155 社

●新入会の個人会員様

発信・街づくり部会長 藤川敏行さん

し、関係者への説明や書類の準備を進めています。9月か10月頃には指定が決まる予定です。指定されると、道路上での諸活動や収益活動も可能です。

緩速車線を歩道化する工事も進んでおり、数年後には当会エリアの計画をまとめていく必要があります。未来に引き継いでいける御堂筋にするため、出来るところから活動を継続していきたいと思っています。

発信・御堂筋はなプロジェクト・チームリーダー 大島弥生さん

お花は生きもの。コロナ自粛期間も水やり・植え替えと世話は欠かせません。水やりは、薬師寺、酒井、高橋、小林、大島が曜日を決めて担当しましたが、在宅勤務で花壇に来られない方がありました。なんとか週に3回は水やりを続けてきました。

気温が高くなる6月~10月は、日曜日以外毎日、水やりが必要です。現在は、月曜日から土曜日まで順番に、薬師寺洋子 / 米田玲子(エア・ウォーター) / 酒井妥子(ジオ・アカマツ) / 坂口 寛(オー・エム・ビル管理) / 小林はま(戸田建設) / 大島弥生(大島内科医院)が担当します。

不定期連載 会員さん紹介



松井 緑朗 さん

(株)大林組 大阪本店
プロジェクト推進第三部・副部長

出身は奈良県。大学は京都大学で大学院を含めて6年間建築を学び大林組に就職。設計、エンジニアリングの部門を経て、現在は開発部門で勤務。一级建築士。

経歴だけを伺うと、論理的で緻密、こだわりの強い人のように思えるが、そうではなさそう。当会では、街づくり部会で地元地権者とのパイプ役であり、このレポートの編集長も兼務されていて、フレンドリーで協調的、でも言うべきことははっきり言う。その融通無碍な姿勢が安心感を感じさせる人である。

「今、街づくりは官民協働の時代。地権者みんなの意見が出てくるところまで持っていくかどうか。責任を感じますね」と松井さん。中高時代は、自由な校風で有名な奈良女子大学付属の中高一貫教育を受けた。「私の性格の基礎はこの時代にできたと思う」と。今もこの時の仲間たちと山歩きを楽しむそうだ。

事務局だより

2020年10月16日(金) 「令和2年度 第2回定期会・昼食会」

定例会 : 11:00~12:00、昼食会 : 12:00~13:00 場所:『大成閣』